

様式1(主な取組)

活動指標名	利用容量				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	101[Gbps]	102[Gbps]	152[Gbps]	170[Gbps]	210	600	35.0%	0 大幅遅れ	<p>アジアにおける国際情報通信ハブ形成を推進するために整備した、沖縄国際情報通信ネットワークの利活用を促進するため、ネットワークの運営事業者や県内データセンター事業者に対して両者のサービスを組み合わせたパッケージサービスを策定するよう促し、利用促進を図った。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>本ネットワークサービスの利用容量は計画値を達成していないが、利用を検討している企業からの問合せは一定数ある。また、県外企業による県外・海外向け事業での活用事例もあることから、活用事例や県内クラウド環境の優位性等とあわせた周知活動を展開することで、今後は堅調に推移することが見込まれる。</p>	
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄国際情報通信ネットワーク認知度向上に向けた周知活動について、新型コロナウイルスの影響により今後も各種セミナーのオンライン開催が定着するものと思われるため、それを見据えた周知コンテンツ充実等の活動体制整備に取組む。 ・沖縄国際情報通信ネットワークだけでなく、県内データセンターサービス等と一体的な提案やユースケースの周知によって、認知度向上、利用促進を図るため、県内情報通信関連事業者との連携体制強化に取組む。 						<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄国際情報通信ネットワークの運営事業者や県内データセンター事業者に対して両者のサービスを組み合わせたパッケージサービスを策定するよう促し、ネットワークの利用促進を図った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 沖縄国際情報通信ネットワークをはじめとする沖縄のクラウド環境に対する認知度の向上が必要である。
- ・ 沖縄国際情報通信ネットワーク単体での活用提案が主流であり、ITインフラへの理解度によっては具体的利活用方法をイメージしづらいユーザー企業がある。

○外部環境の変化

- ・ 大規模災害の多発や新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、多くの企業においてクラウド環境を活用したBCPの見直し等を検討する機運が高まっている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ クラウド環境等の構築を検討する企業への周知活動について、沖縄国際情報通信ネットワーク単体での提案だけでなく、本ネットワークの接続先となる県内データセンター等との一体的かつ具体的な活用提案を継続して取り組む必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 沖縄国際情報通信ネットワークと県内データセンター等との一体的な活用提案やユースケースの周知によって、認知度向上、利用促進を図るため、ネットワークの運営事業者や県内データセンター事業者等との連携に引き続き取り組む

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(3)-エ	情報通信基盤の整備	施策	① 国内外に向けた情報通信基盤の拡充
			施策の小項目名	○通信基盤の充実化に向けた取り組み
主な取組	戦略的通信コスト低減化支援			
対応する主な課題	①新たに構築された国際情報通信ネットワークや沖縄クラウドネットワーク等の通信基盤を連携・拡充することで、高速・大容量・低価格の情報通信ネットワークサービスを提供し、アジア有数の国際情報通信のハブ化を加速させる必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
沖縄県内で創業又は事業を営む情報通信関連企業に対して、沖縄と本土及び海外間の情報通信費の一部を支援することで、企業の県内立地や雇用の拡大に寄与する		15社				
		支援利用企業数				
実施主体	県、民間					
担当部課【連絡先】	商工労働部情報産業振興課 【098-866-2503】					
		国内及び海外の通信コストの一部を低減する				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
								当初予算額	主な財源	OR3年度： 当該事業は令和元年度で事業終了しているため、特に活動なし。
	県単等	補助	29,639	28,229	23,693	—	—	—		OR4年度： 当該事業は令和元年度で事業終了しているため、特に活動予定なし。
										OR3年度： OR4年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	情報通信費低減化支援利用企業数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	10社	10社	7社	—	—	—		0	未着手	当該事業は令和元年度で事業終了しているため、活動なし。
活動指標名					R3年度					
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<p>・ 県外事務所等における企業誘致活動や企業誘致セミナーにおけるプロモーション等において、沖縄クラウドネットワーク及び沖縄国際情報通信ネットワークの事業内容の周知を図る。</p>						<p>・ 沖縄国際情報通信ネットワークの運営事業者や県内データセンター事業者に対して両者のサービスを組み合わせたパッケージサービスを策定するよう促し、ネットワークの利用促進を図った。なお、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、企業誘致セミナーの開催は中止となったため、当該セミナーに参加出来ていない。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 沖縄国際情報通信ネットワークをはじめとする沖縄のクラウド環境に対する認知度の向上が必要である。
- ・ 沖縄国際情報通信ネットワーク単体での活用提案が主流であり、ITインフラへの理解度によっては具体的利活用方法をイメージしづらいユーザー企業がある。

○外部環境の変化

- ・ 大規模災害の多発や新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、多くの企業においてクラウド環境を活用したBCPの見直し等を検討する機運が高まっている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ クラウド環境等の構築を検討する企業への周知活動について、沖縄国際情報通信ネットワーク単体での提案だけでなく、本ネットワークの接続先となる県内データセンター等との一体的かつ具体的な活用提案を継続して取り組む必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 沖縄国際情報通信ネットワークと県内データセンター等との一体的な活用提案やユースケースの周知によって、認知度向上、利用促進を図るため、ネットワークの運営事業者や県内データセンター事業者等との連携に引き続き取り組む

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(3)-エ	情報通信基盤の整備	施策	① 国内外に向けた情報通信基盤の拡充
			施策の小項目名	〇クラウド基盤の構築
主な取組	クラウドデータセンター基盤の構築			
対応する主な課題	①新たに構築された国際情報通信ネットワークや沖縄クラウドネットワーク等の通信基盤を連携・拡充することで、高速・大容量・低価格の情報通信ネットワークサービスを提供し、アジア有数の国際情報通信のハブ化を加速させる必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
クラウドコンピューティング等の新たな高付加価値サービスの創出や、国内外企業データのバックアップ・リスク分散化拠点を形成するため、クラウドデータセンターの整備を促進する。				1棟クラウドDC整備		
実施主体	民間					
担当部課【連絡先】	商工労働部情報産業振興課 【098-866-2503】					
		クラウドデータセンターの集積促進(施設整備等)				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	直接実施	63,452	-	-	-	-	-		OR3年度： 沖縄情報通信センターをバックアップ拠点にしたCORAL21システムのバックアップ実証実験を実施し、クラウドデータセンターの利用促進を図った。 OR4年度： 民間事業者によるクラウドデータセンターの利用(サービス利用やデータセンターinデータセンター構築等)を促し、県内に情報資産の集積を図る。
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									OR3年度： OR4年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	クラウドデータセンターの集積促進(施設整備等)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	0	順調	平成27年4月から供用開始したクラウドデータセンターにおいて、需要の拡大が見込まれることから、同センター内に特別高圧受変電設備等の追加工事を、平成28年度から引き続き実施し、平成29年度に完了した。 令和3年度においては、クラウドデータセンターの運用を継続した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案								反映状況		
<ul style="list-style-type: none"> 県内クラウド環境や沖縄県の地理的優位性(本土との同時被災リスクの低さ等)や県内クラウド環境の活用事例等を、国内外の企業に周知することで、クラウドデータセンターの利用促進を図る。 								<ul style="list-style-type: none"> 沖縄情報通信センターをデータのバックアップ拠点としたCORAL21システムのバックアップ実証実験を実施し、クラウドデータセンターの利用促進を図った。 		



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・クラウドデータセンターを含む県内クラウド環境や県の施策を周知することで、国内外企業にクラウドデータセンターの利用を促す必要がある。

○外部環境の変化

・ディザスタリカバリ (DR: 災害などによる被害からの回復措置) や事業継続計画 (BCP) の考え方が見直される中、地震や津波などの来襲時に、首都圏等と同時被災リスクの低い沖縄へ立地を検討する企業が増えている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・沖縄国際情報通信ネットワーク、沖縄クラウドネットワーク及びクラウドデータセンターの3つの県内クラウド環境や沖縄県の地理的優位性 (本土との同時被災リスクの低さ等) を、国内外の企業に周知することで、クラウドデータセンターの利用促進を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・県内クラウド環境や沖縄県の地理的優位性 (本土との同時被災リスクの低さ等) や県内クラウド環境の活用事例等を、国内外の企業に周知することで、クラウドデータセンターの利用促進を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(3)-エ	情報通信基盤の整備	施策	② 情報通信産業集積拠点の整備
			施策の小項目名	○沖縄IT津梁パーク集積促進・機能強化
主な取組	沖縄IT津梁パーク運営事業			
対応する主な課題	②民間資金を活用した集積施設の整備を促進する新たなスキームの立案と、立地環境（利便施設等）を拡充することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
沖縄IT津梁パーク内に、民間資金により整備する企業集積施設を誘致し、企業の集積促進と雇用の創出を図る。		31社 入居企業数	33社	44社	45社	46社
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	商工労働部情報産業振興課 【098-866-2503】					
		沖縄IT津梁パークの管理運営等				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 沖縄IT津梁パーク運営事業等							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 指定管理者制度等を活用したIT津梁パークの管理運営、入居企業等にサービスを提供するとともに、同パークへIT関連企業の立地促進に取り組んだ。	
県単等	直接実施	134,660	162,624	142,484	151,868	184,702	193,438	県単等	OR4年度： 指定管理者制度等を活用したIT津梁パークの管理運営、入居企業等にサービスを提供するとともに、同パークへIT関連企業の立地促進に取り組む。	
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：	
									OR4年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	入居企業数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	29社	28社	34社	34社	38社	46社	82.6%	184,702	概ね順調	指定管理者制度等を活用して沖縄IT津梁パークの管理運営を行うほか、IT関連企業や利便施設の誘致活動を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										令和3年度末時点の入居企業数は、計画値の46社に対して実績値が38社となっているが、施設への入居状況はほぼ満室であることから、取組は「概ね順調」である。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 沖縄IT津梁パークにおける就業環境の充実を図ることでIT関連企業の集積を促進するため、利便施設用地分譲を受けた宿泊施設等の建設を予定している民間事業者へ、着実な事業着手を働きかけていく。 						<ul style="list-style-type: none"> 同パークへの利便施設整備のために、宿泊施設等の建設を予定している民間事業者に事業の進捗や計画を確認し、保育施設については令和3年12月に創業を開始し、宿泊施設については令和5年3月創業に向けて令和3年9月に着工するに至った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ 沖縄 I T 津梁パーク内には宿泊施設等の利便施設が不足しているため、就業者の子育て支援や、研修生等の宿泊先の確保が難しい等、入居企業から就業環境の充実が求められている。

○外部環境の変化

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 沖縄 I T 津梁パーク内には宿泊施設等の利便施設が不足しているため、研修生等の宿泊先の確保が難しい等、入居企業から就業環境の充実が求められていることから、利便施設用地分譲を受けた民間事業者が今後も着実に事業を進めていくか進捗を確認する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 沖縄 I T 津梁パークにおける就業環境の充実を図ることで I T 関連企業の集積を促進するため、利便施設用地分譲を受けた民間事業者に対して、着実な事業着手を働きかけていく。

様式1(主な取組)

活動指標名	新規施設				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	0棟	2棟	1棟	0	1	1	70.0%	500,981	やや遅れ	前年度から企業集積施設7号棟の整備工事に着手し、令和3年7月に供用を開始した。
活動指標名					R3年度					
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値										
活動指標名					R3年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 建築資材や人件費、地下の高騰による影響は数年続くものと思われることから、従来の基本施設仕様等の見直しを含めた整備コスト低減化に向けた検討作業を実施する。 景気動向を注視しながら、企業誘致セミナー等を活用した情報発信や既存企業に対するアフターフォロー等によって企業集積施設の認知度向上を図り、新規整備を促進する。 						<ul style="list-style-type: none"> 沖縄IT津梁パーク内利便施設用地の分譲企業に対し、計画どおりの事業実施に向け、必要な調整等を実施し、施設整備を促進した。 企業誘致セミナー等を活用して企業集積施設整備の事業スキームを広く周知するとともに、入居企業の積極的な誘致や既存企業へのアフターフォロー等を実施し、新規施設整備を促進した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 既存施設の入居率は順調に推移している。

○外部環境の変化

- ・ 建築資材や人件費、地価高騰を背景に施設整備コストの上昇が続いている。
- ・ 建築資材調達難や人手不足により建築業界において、建築工期の長期化が続いている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 施設整備コスト上昇により、企業集積施設への入居を躊躇するIT企業が増えることが想定されるため、施設整備コスト低減を図る必要がある。
- ・ 県内外からの大規模移転や既存企業の事業拡大の際、企業集積施設が活用されるよう、企業集積施設の認知度向上を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 建築資材や人件費、地価の高騰による影響は数年続くものと思われることから、従来の基本施設仕様等の見直しを含めた整備コスト低減化に向けた検討作業を実施する。
- ・ 景気動向を注視しながら、企業誘致セミナー等を活用した情報発信や既存企業に対するアフターフォロー等によって企業集積施設の認知度向上を図り、新規整備を促進する。

様式1(主な取組)

活動指標名	アジア連携ビジネスの集積拠点の整備				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
		実施設計	関係機関調整	工事の着手	工事の完了	維持管理	維持管理	100.0%	0	順調
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> アジアITビジネスセンターの円滑な運用に向け、関係機関と連携し、施設の軽微な手直しや設備システムの設定等を行い、環境を整える。 施設の更なる情報発信を行い、入居企業の誘致に努める。 						<ul style="list-style-type: none"> 指定管理と連携し、警備システム、通信配線等を整備した。 施設の公募を行うとともに、関係課と連携して企業の誘致を行い、現在21室中20室の入居が決定している。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・施設の計画的な維持管理と長寿命化を図るため、令和2年度に沖縄IT津梁パーク個別施設計画を策定しており、今後の修繕に際して留意する必要がある。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症や世界的な半導体不足等の影響により、施工業者の人手不足や設備機器の調達が遅れる等の影響が出てきている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・施設の修繕対応については、沖縄IT津梁パーク個別施設計画を踏まえて実施するが、パーク内の他施設の不具合状況や優先度を調整したうえで、適宜計画を見直す必要がある。

・修繕の発注については、人手不足や納期の遅れを見越したうえで、余裕をもって対応する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・沖縄IT津梁パーク個別施設計画、パーク内他施設の劣化状況を踏まえた修繕計画を作成する。

・修繕対応について、人手不足や機器の納期の遅れを想定し、余裕を持った工期の設定を行う。